

令和6年度
クリーニング師学科試験問題

指示があるまで開いてはいけません

試験時間 60分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

衛生法規に関する知識

問1 クリーニング業法第1条の条文について、()に入る語句を語群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

この法律は、(ア)に対して、(イ)等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もつてその(ウ)を公共の福祉に適合させるとともに、(エ)の利益の擁護を図ることを目的とする。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. クリーニング所 | 2. クリーニング業 | 3. クリーニング師 |
| 4. 公衆衛生 | 5. 環境衛生 | 6. 生活衛生 |
| 7. 振興 | 8. 経営 | 9. 活動 |
| 10. 利用者 | 11. 事業者 | 12. 消費者 |

問2 クリーニング業法第3条に規定する営業者の衛生措置等について、誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 営業者は、衛生上支障がない場合は、クリーニング所以外において営業として洗濯物の処理を行うことができる。
- 2 洗濯物はその用途に応じ、区分して処理しなければならない。
- 3 洗場については、床を不浸透性材料で築造し、これに適切な勾配と排水口を設けなければならない。

問3 クリーニング業法第4条に規定するクリーニング師の設置について、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 営業者は、クリーニング所ごとに2人以上のクリーニング師を置かなければならない。
- 2 営業者は、洗濯物の受取及び引渡のみを行うクリーニング所についても、クリーニング師を置かなければならない。
- 3 営業者がクリーニング師であって、自ら、主として一のクリーニング所においてその業務に従事するときは、当該クリーニング所については、他にクリーニング師を置かなくてもよい。

問4 クリーニング師免許証に関する以下の記載について、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 クリーニング師が、その住所又は氏名を変更したときは、10日以内に免許証の訂正の申請をしなければならない。
- 2 クリーニング師は、免許を与えた都道府県知事に免許証を返納することによって登録の抹消を申請することができる。
- 3 クリーニング師が、紛失の事由により免許証の再交付を申請した後、失った免許証を発見したときは、10日以内に免許を与えた都道府県知事に提出しなければならない。
- 4 クリーニング師のうち、免許の取消処分を受けた者は、5日以内に免許証を本籍地を管轄する都道府県知事に免許証を返納しなければならない。

問5 クリーニング業法第5条の2の条文について、()に入る語句の組み合わせとして、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

(ア)は、そのクリーニング所の(イ)について(ウ)の検査を受け、その(イ)が第3条第2項又は第3項の規定に適合する旨の確認を受けた後でなければ、当該クリーニング所を使用してはならない。

	ア	イ	ウ
1	営業者	衛生管理方法	都道府県知事
2	クリーニング師	構造設備	厚生労働大臣
3	営業者	構造設備	都道府県知事
4	クリーニング師	衛生管理方法	厚生労働大臣

問6 引火性溶剤を用いるドライクリーニングを営む工場について、安全性の観点から住居系地域や商業系地域における立地を禁止している法律の名称について、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 2 水質汚濁防止法
- 3 建築基準法
- 4 土壌汚染対策法

問7 クリーニング業法における都道府県知事の権限として正しいものには○を、誤っているものには×を、解答欄に記入しなさい。

- 1 都道府県知事は、営業者又はその使用人で、洗濯物の処理又は受取及び引渡しの業務に従事するものが非伝染性の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不相当と認めるときは、期間を定めてその業務を停止することができる。
- 2 都道府県知事は、必要があると認めるときは、環境衛生監視員に、クリーニング所又は業務用の車両に立ち入り、第3条、第3条の2第2項及び第4条に規定する措置の実施状況を検査させることができる。
- 3 都道府県知事は、クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して懲役以上の刑に処せられたときは、その免許を取り消すことができる。
- 4 クリーニング師の免許は、都道府県知事がクリーニング師試験に合格した者に与える。

問8 「クリーニング所における衛生管理要領」に示されている、指定洗濯物の一般的な消毒方法について誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 蒸気による消毒方法としては、蒸気がま等を使用し、100℃以上の湿熱に10分間以上触れさせることが必要である。
- 2 熱湯による消毒方法としては、95℃以上の熱湯に10分間以上浸すことが必要である。
- 3 塩素剤による消毒方法としては、さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、その遊離塩素250ppm以上の水溶液中に30℃以上で5分間以上浸すことが必要である。
- 4 界面活性剤による消毒方法としては、逆性石ケン液、両性界面活性剤等の殺菌効果のある界面活性剤を使用し、その適正希釈水溶液中に30℃以上で30分間以上浸すことが必要である。

公衆衛生に関する知識

問1 次のアメリカ合衆国の公衆衛生学者ウインスローによる公衆衛生の定義に関する記述について、文中の（ ）に入る語句の組み合わせとして正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

公衆衛生とは、（ア）の改善、伝染病の予防、個人衛生の原則についての個人の教育、疾病の早期診断と治療のための（イ）と看護サービスの組織化、および地域社会のすべての人に、健康保持のための適切な生活水準を保障する（ウ）の発展のために、共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、肉体的、精神的健康の能率の増進を図る（エ）であり、技術である。

- | | | | | |
|---|----------|--------|----------|--------|
| 1 | (ア) 病気 | (イ) 福祉 | (ウ) 文化 | (エ) 思想 |
| 2 | (ア) 環境衛生 | (イ) 医療 | (ウ) 社会制度 | (エ) 科学 |
| 3 | (ア) 病気 | (イ) 医療 | (ウ) 文化 | (エ) 科学 |
| 4 | (ア) 環境衛生 | (イ) 福祉 | (ウ) 社会制度 | (エ) 思想 |
| 5 | (ア) 環境衛生 | (イ) 福祉 | (ウ) 社会制度 | (エ) 科学 |

問2 次の人口動態統計に関する記述について、正しいものには○を、誤っているものには×を、解答欄に記入しなさい。

- 1 わが国の令和5年の死因順位は、第1位が老衰である。
- 2 わが国の令和5年の婚姻件数は前年より増加している。
- 3 合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもののだが、わが国の令和5年の合計特殊出生率は1.20で、前年より低下し、過去最低となった。
- 4 平均寿命とは0歳における平均余命のことである。

問3 次の地域保健法に基づき設置する保健所に関する記述について、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 保健所は、都道府県、指定都市のみに設置される。
- 2 保健所の業務には、衛生上の試験及び検査に関する事項がある。
- 3 都道府県型の保健所は、乳幼児健康診査の実施機関である。
- 4 保健所の業務には、歯科保健に関する事項は含まれていない。

問4 次の労働安全衛生に関する記述について、誤っているものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 テトラクロロエチレンを使用したドライクリーニング機を取り扱う作業に常時従事する者に対しては、事業者は年に1回、特殊健康診断を行わなければならない。
- 2 常時50人以上の労働者を使用する事業場においては、産業医を選任する必要がある。
- 3 常時50人以上の労働者を使用する事業場においては、心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）の実施義務がある。
- 4 石油系溶剤を使用したドライクリーニングの業務を行う場合は、有機溶剤作業主任者を選任する必要がある。

問5 次のノロウイルス感染症に関する記述について、正しいものには○を、誤っているものには×を、解答欄に記入しなさい。

- 1 ノロウイルスによる食中毒は夏期に多い。
- 2 感染経路はほとんどが経口感染である。
- 3 ノロウイルスに汚染されたリネン類を洗濯するときは、下洗い後に75℃1分間以上の熱水洗濯が有効である。
- 4 患者の嘔吐物の処理は、使い捨てのガウン（エプロン）やマスク、手袋を着用しペーパータオル等で静かに拭き取り、アルコール消毒後、水拭きをするのが有効である。

問6 次の感染症に関する記述について、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 白癬は、ヒゼンダニが皮膚の最外層である角質層に寄生し、人から人へ感染する疾患である。
- 2 セレウス菌は、自然環境中に広く存在し、食中毒の原因となることがある。
- 3 腸管出血性大腸菌は、ほとんどが飛沫感染である。
- 4 結核は、ウイルス性の感染症である。

問7 次の熱中症に関する記述について、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 室内で発生することはない。
- 2 熱中症予防のためには、のどの渇きを感じてからこまめに水分補給する。
- 3 「熱中症警戒アラート」は、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される際に、気象庁と環境省が共同で発表する情報である。
- 4 同じ気温でも湿度の高い時ほど熱中症のリスクは低くなる。

問8 次の「クリーニング所における衛生管理要領」に関する記述について、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 従業者が結核や、感染性の皮膚疾患にかかったときは、営業者は保健所に届け出なければならないが、治癒したときに届け出る必要はない。
- 2 営業者は、従業者又はその同居者が「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により就業が制限される感染症にかかっている者は、当該感染症をまん延させるおそれなくなるまでの期間業務に従事させてはならないが、その疑いのある者の場合はその限りではない。
- 3 施設内の照明器具は、少なくとも1年に1回清掃するとともに、常に適正な照度維持に努めること。
- 4 施設内は、採光・照明を十分にすること。特に、受渡し場、しみ抜き場及び仕上場の作業面の照度は、300ルクス以上であることが望ましい。

洗濯物の処理に関する知識

問1 次のシミを分類し、水溶性のシミはA、油溶性のシミはB、不溶性のシミはC、と解答欄に記入しなさい。

- 1 墨汁
- 2 ペンキ
- 3 糖類
- 4 コンクリート
- 5 果汁
- 6 化粧品
- 7 カビ
- 8 汗
- 9 グリース
- 10 泥

問2 ドライクリーニングに関する説明として、正しいものには○を、誤っているものには×を、解答欄に記入しなさい。

- 1 テトラクロロエチレンを使用したドライクリーニングは、密閉された機械で洗浄処理するため、毒性は特に気にすることはない。
- 2 チャージシステムとはあらかじめドライ溶剤にドライソープを添加して洗う方法であり、通常ソープ濃度は5%～10%を用いる。
- 3 ドライソープは静電気防止や風合いの向上、水を可溶化し水溶性汚れとシミ除去を促進させる効果があり、添加は重要である。
- 4 現在日本では石油系溶剤の使用比率が高く、引火点が約40℃であることから、直射日光を避け、気温の高い日は特に注意して取り扱う必要がある。
- 5 石油系溶剤は毒性がないので、換気をしていれば中毒や化学やけどの心配はない。

問3 洗濯物の処理工程における説明として、正しいものには○を、誤っているものには×を、解答欄に記入しなさい。

- 1 シミ抜きは主に油性処理、水溶性処理、酵素処理、酸化漂白処理、還元漂白処理の順に進める。
- 2 ドライクリーニングは水洗いをすると色が出るもの、形が崩れやすいもの、縮みやすいもの等、ランドリーに適さない品物を洗うのに適している。
- 3 仕上げの3条件は湿気、熱、圧力である。
- 4 リネンサプライによる洗濯処理は、大量に処理するため洗浄時間を短くとる。
- 5 漂白剤は黄ばみ、シミ、汚れを分解し、また殺菌効果があるので洗浄時には必ず洗剤と併用するほうがよい。

問4 繊維製品の取扱い表示について、表示記号とその説明が正しいものには○を、誤っているものには×を、解答欄に記入しなさい。

1		洗濯処理後のタンブル乾燥処理ができる。 低温乾燥、排気温度上限は60℃。
2		ドライクリーニング処理はできない。
3		酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない。
4		日陰でのぬれつり干し乾燥がよい。
5		底面温度110℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができる。
6		石油系溶剤(蒸留温度150℃～210℃、引火点38℃～)でドライクリーニング処理ができる。(弱い処理)
7		液温は30℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯処理ができる。

8		洗濯直後のタンブル乾燥処理はできない。
9		ウェットクリーニング処理ができる。(非常に弱い処理)
10		液温は60℃を限度とし、手洗いによる洗濯処理ができる。

問5 ウェットクリーニングの対象製品に関する説明として、正しいものには○を、誤っているものには×を、解答欄に記入しなさい。

- 1 ドライクリーニング対象品であるが、油溶性汚れを除去する必要がある製品。
- 2 ポリ塩化ビニル製品や耐ドライクリーニング性の低いプリント製品など、ドライクリーニングが不可能な製品。
- 3 壊れやすい装飾などが付属した、機械力を抑える洗浄が必要な製品。
- 4 表示などで家庭洗濯や商業用水洗いが指示されており、他のクリーニング方法と比較してウェットクリーニングが望ましい状態にある製品。
- 5 漂白や強洗浄を必要とする汚れが付着し、温度を上げて処理しなければならない製品。

令和6年度クリーニング師試験問題解答（正答入り）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1. 衛生法規に関する知識（配点：100点）

問 1			
ア	イ	ウ	エ
2	4	8	10

(5点×4問)

問 2
1

(10点)

問 3
3

(10点)

問 4
2

(10点)

問 5
3

(10点)

問 6
3

(10点)

問 7			
1	2	3	4
×	○	×	○

(5点×4問)

問 8
2

(10点)

得点	
----	--

/ 100

2. 公衆衛生に関する知識（配点：100点）

問 1
2

(10点)

問 2			
1	2	3	4
×	×	○	○

(5点×4問)

問 3
2

(10点)

問 4
1

(10点)

問 5			
1	2	3	4
×	○	×	×

(5点×4問)

問 6
2

(10点)

問 7
3

(10点)

問 8
4

(10点)

得点	
----	--

/ 100

3. 洗たく物の処理に関する知識（配点：100点）

問 1									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
C	B	A	C	A	B	C	A	B	C

(2点×10問)

問 2				
1	2	3	4	5
×	×	○	○	×

(4点×5問)

問 3				
1	2	3	4	5
○	○	○	×	×

(4点×5問)

問 4									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	○	○	×	×	○	○	○	×	×

(2点×10問)

問 5				
1	2	3	4	5
×	○	○	○	×

(4点×5問)

得点	
----	--

/ 100

総得点	
-----	--

/ 300